

# 全般季節予報支援資料 1か月予報

2024年10月31日

予報期間：11月2日～12月1日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## 特に注意を要する事項

東・西日本と沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。  
北日本では、2週目は気温がかなり高くなる見込みです。

## 出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

北日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

# 全般1か月予報

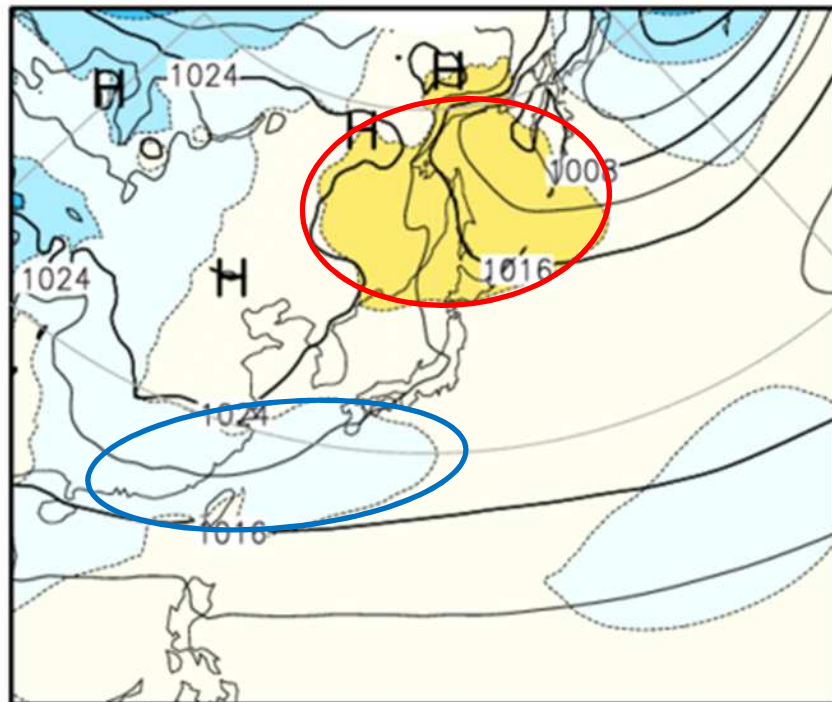
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	10:30:60	20:40:40	30:30:40	
	太平洋側		20:30:50	40:40:20	
東日本	日本海側	10:10:80	20:30:50	30:40:30	
	太平洋側		10:30:60	40:30:30	
西日本	日本海側	10:10:80	10:30:60	30:40:30	
	太平洋側		20:30:50	30:40:30	
沖縄・奄美		10:10:80	30:40:30	30:40:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	30:50:20	10:30:60	20:30:50
東日本	10:30:60	10:20:70	10:30:60
西日本	10:30:60	10:20:70	10:30:60
沖縄・奄美	10:10:80	10:10:80	10:30:60

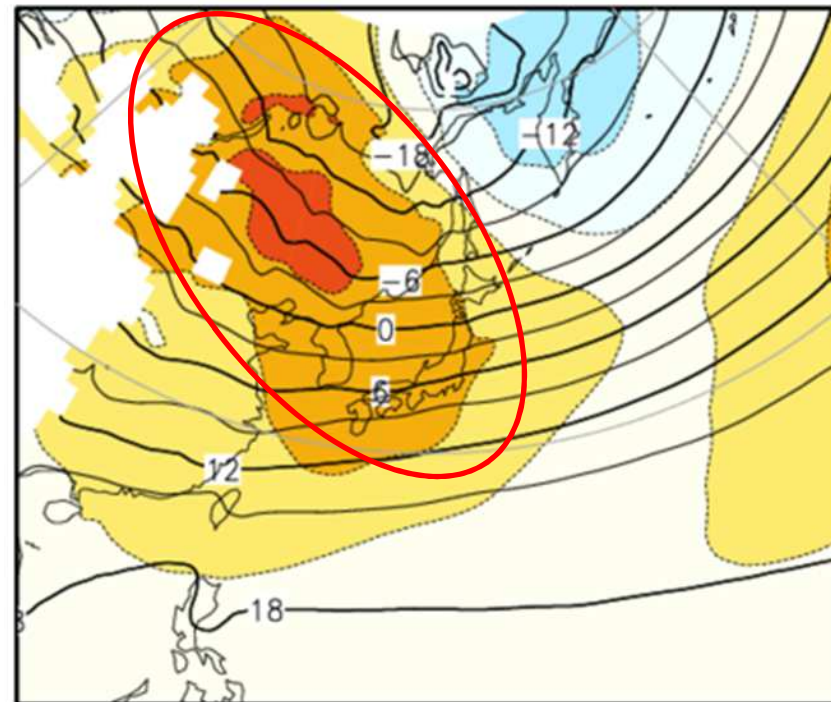
## 全般予報のポイント

- ・向こう1か月の気温は、寒気の影響を受けにくいいため全国的に高いでしょう。東・西日本と沖縄・奄美では期間の前半は、北日本では2週目は気温がかなり高くなる見込みですが、1週目の後半頃に寒気の影響を受ける時期があるでしょう。
- ・期間のはじめを中心に低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は北日本日本海側では平年並か多く、北日本太平洋側、東・西日本では多いでしょう。
- ・湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、北日本太平洋側の日照時間は、平年並か少ないでしょう。

## 海面気圧(1か月)

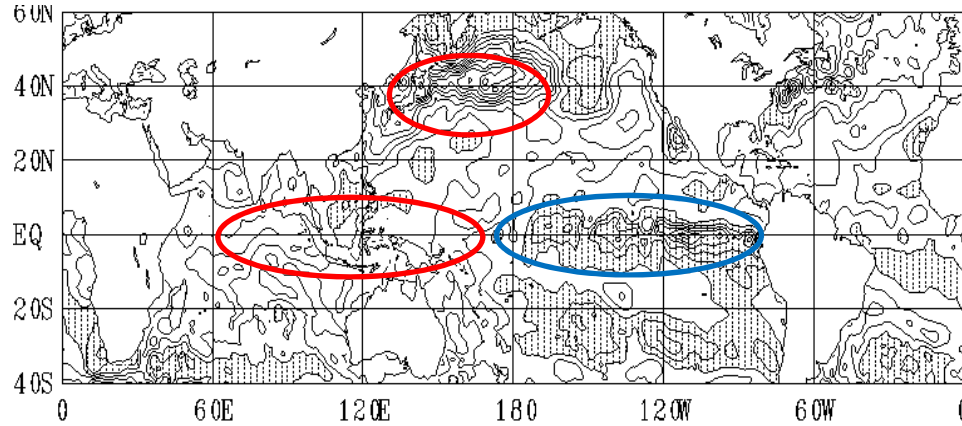


## 上空約1500mの気温(1か月)



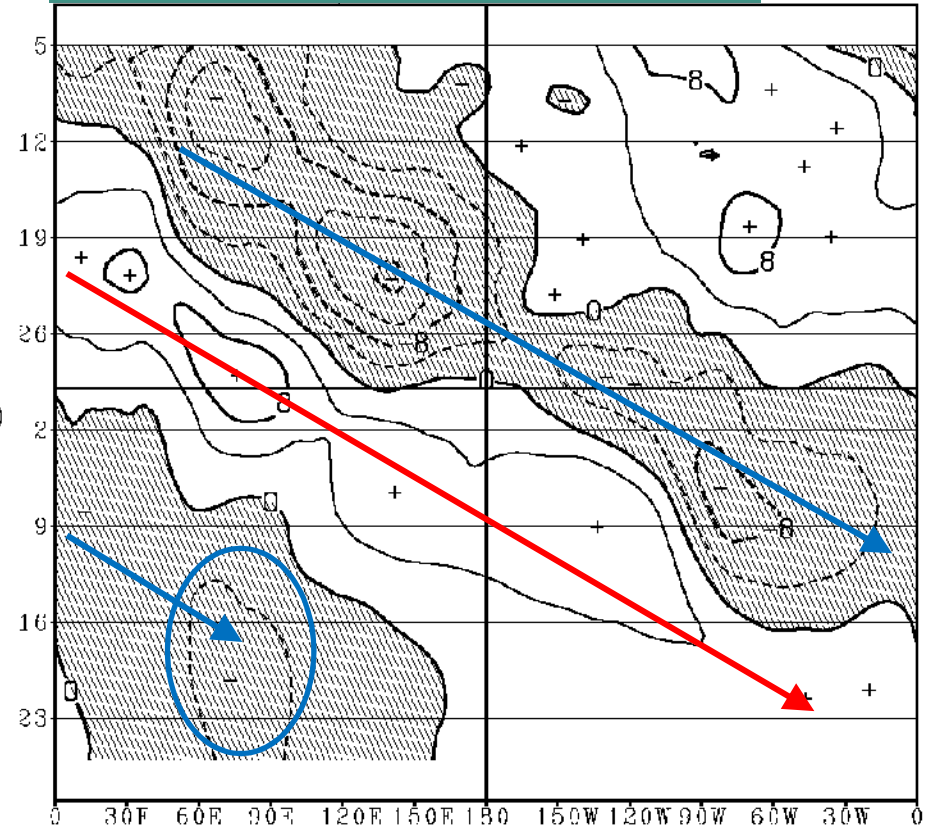
1か月平均の海面気圧(左図)は、日本の北では気圧が高い一方、華南付近から日本の南にかけては気圧が低く、全国的に低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期がある見込みです。  
上空約1500mの気温(右図)は、全国的に平年より高く、寒気の影響を受けにくいでしょう。

## SST偏差



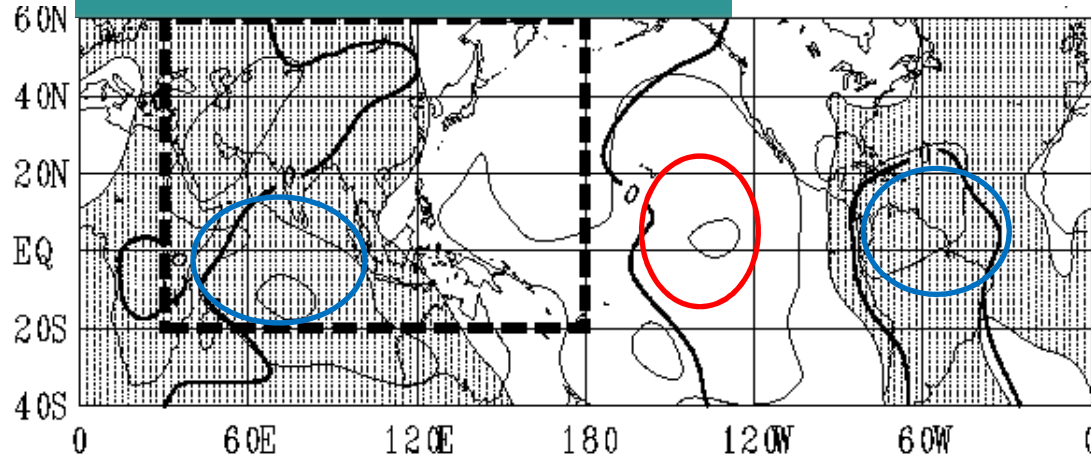
・熱帯域では、先週まで見られたインド洋西部の負偏差域が解消し、インド洋から太平洋西部にかけて正偏差。太平洋赤道域中部から東部にかけて負偏差。日本周辺海域や日本の東で正偏差。

## 200hPa速度ポテンシャル偏差



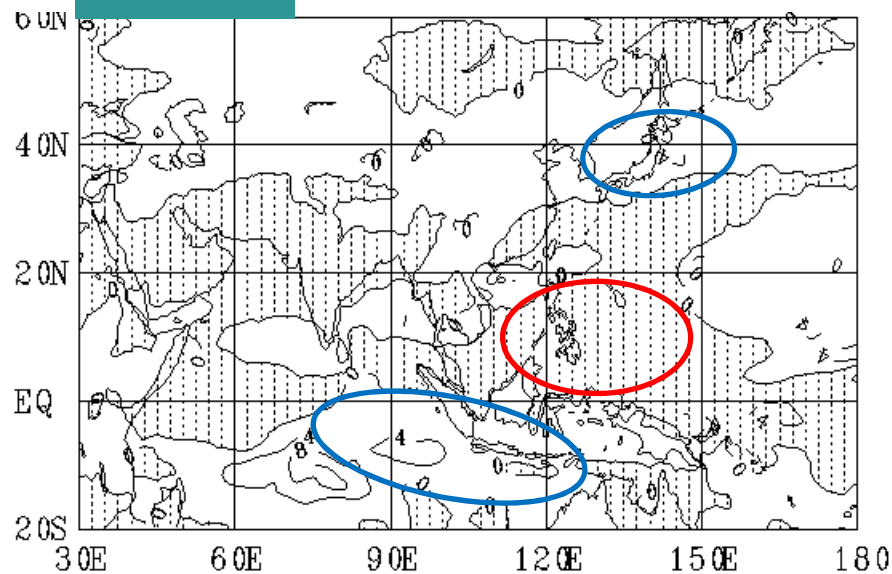
・実況で太平洋中部付近に見られる上層発散域は東進の傾向が明瞭。2週目以降はインド洋で対流活発持続の傾向だが、インド洋での対流活発を持続させやすいというモデルの特性を考慮する。6

## 200hPa速度ポテンシャル



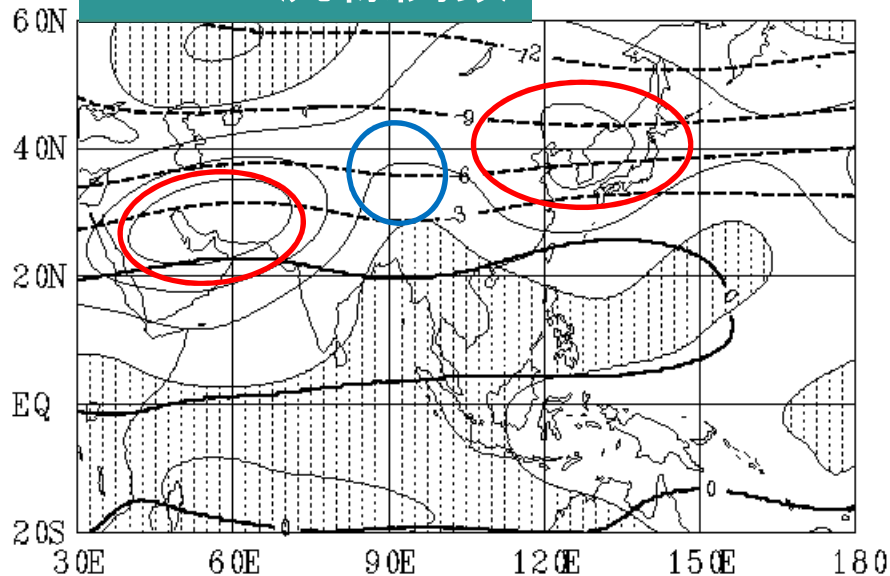
インド洋、大西洋西部で上層  
発散偏差、太平洋中部で上  
層収束偏差。

## 降水量



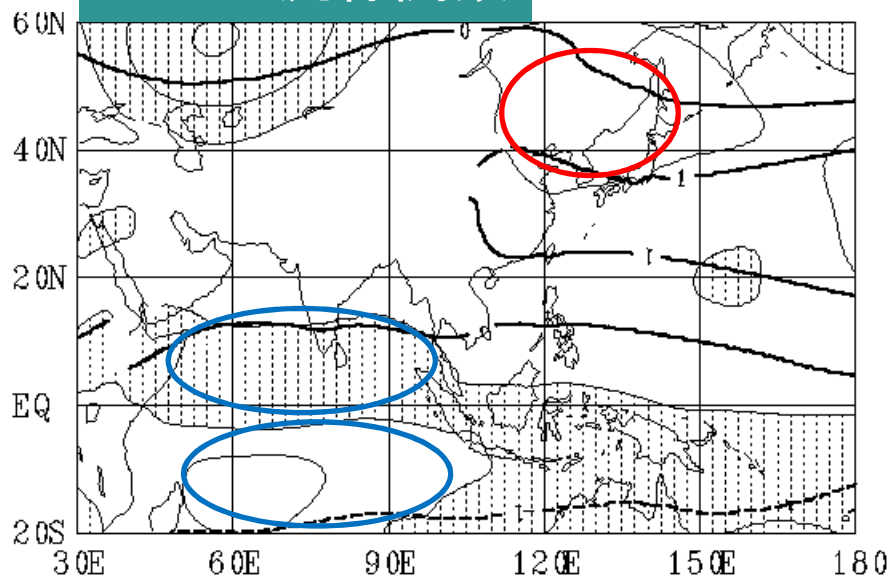
インド洋東部と本州付近で多雨  
偏差、フィリピン付近で少雨偏  
差。

## 200hPa流線関数



中緯度帯には波列パターンが見られ、日本付近は高気圧性循環偏差で偏西風が平年に比べ、北寄りを流れやすい。アラビア海付近の高気圧性循環偏差には、ヨーロッパ付近からの波束伝播に加えインド洋付近の対流活発の影響もあると考えられる。

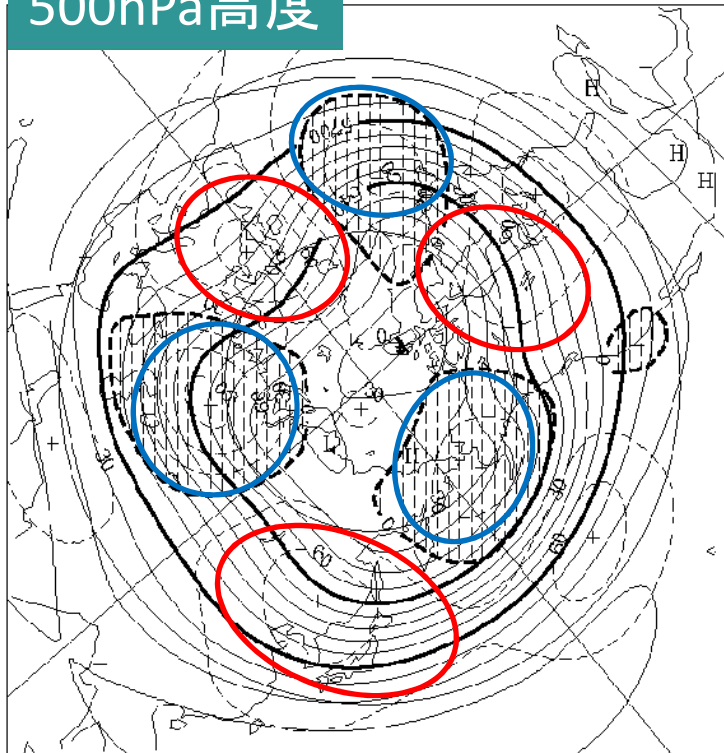
## 850hPa流線関数



インド洋付近の対流活発の影響でインド洋では南北対の低気圧性循環偏差。中国東北区には順圧的な高気圧性循環偏差が見られる。



## 500hPa高度

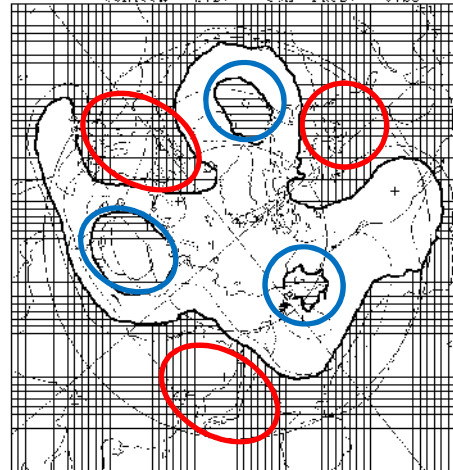
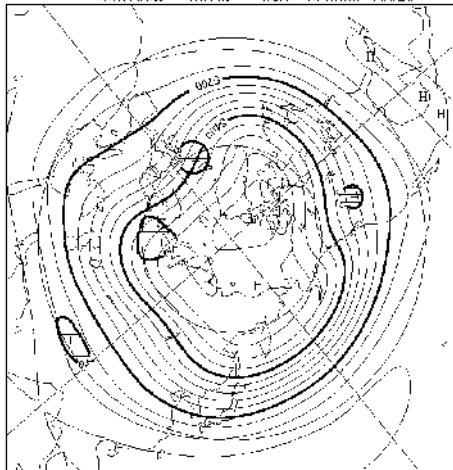


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

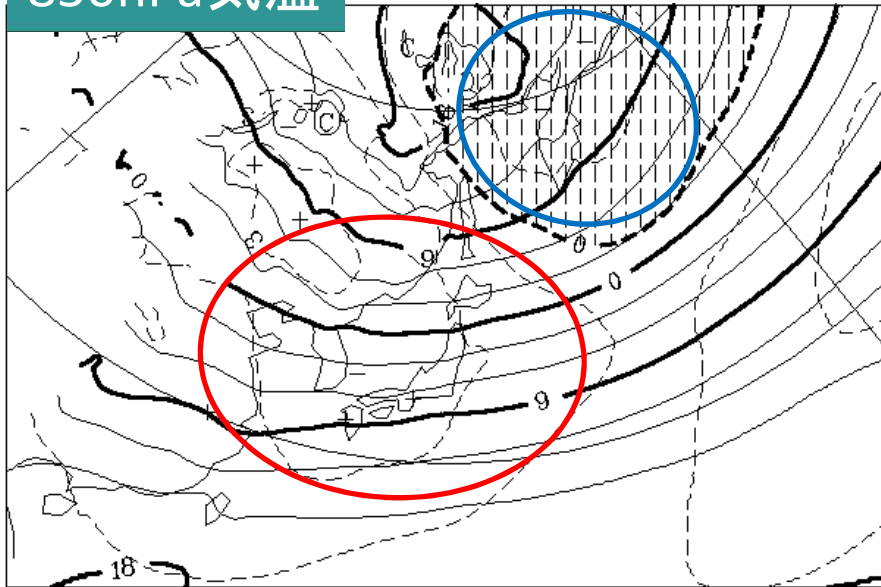
CONTOUR HEIGHT: 600 SPREAD: 10.25

CONTOUR S.D.: 300 PROB: 0.25



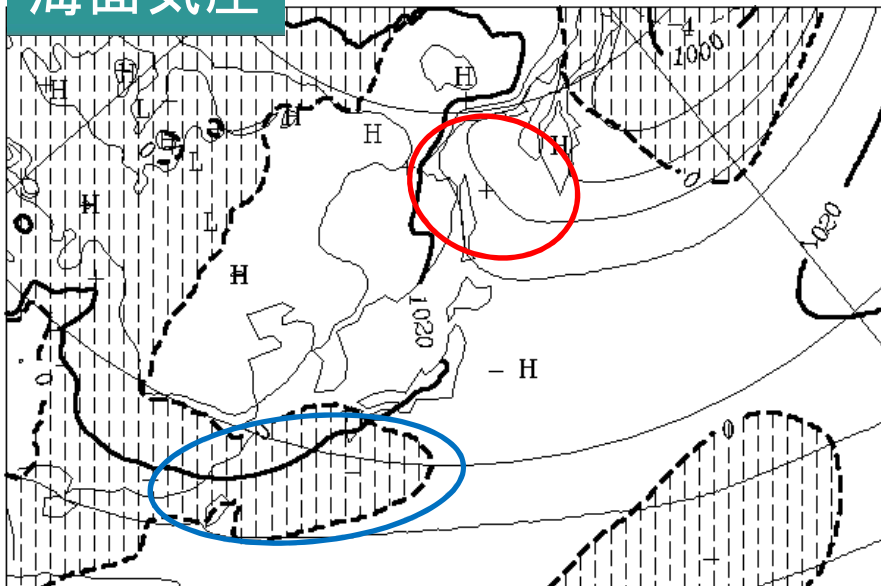
北半球では波列パターンが明瞭で、日本付近は広く正偏差に覆われる。高偏差確率の図においても同様のパターンが見られる。

## 850hPa気温



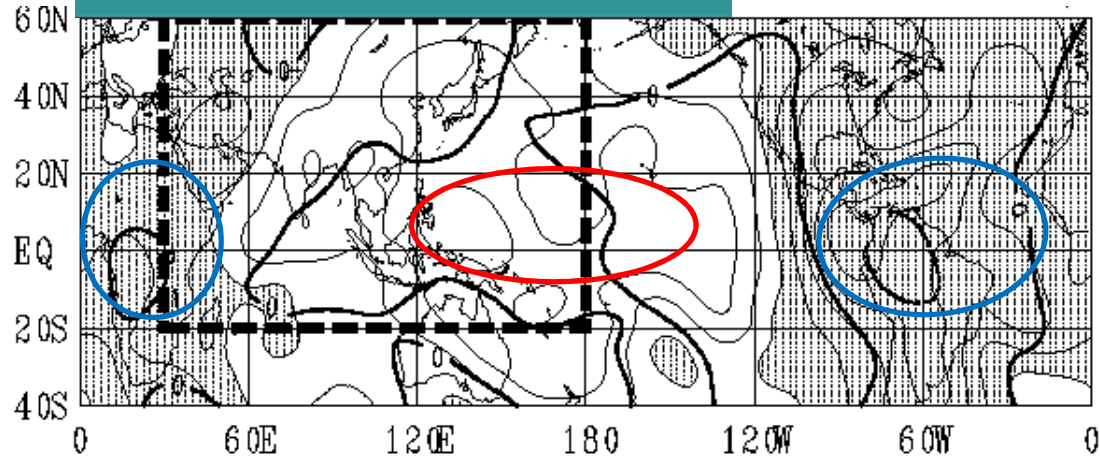
日本付近は広く高温偏差に覆われる一方で、カムチャツカ半島付近には低温偏差域も見られる。

## 海面気圧



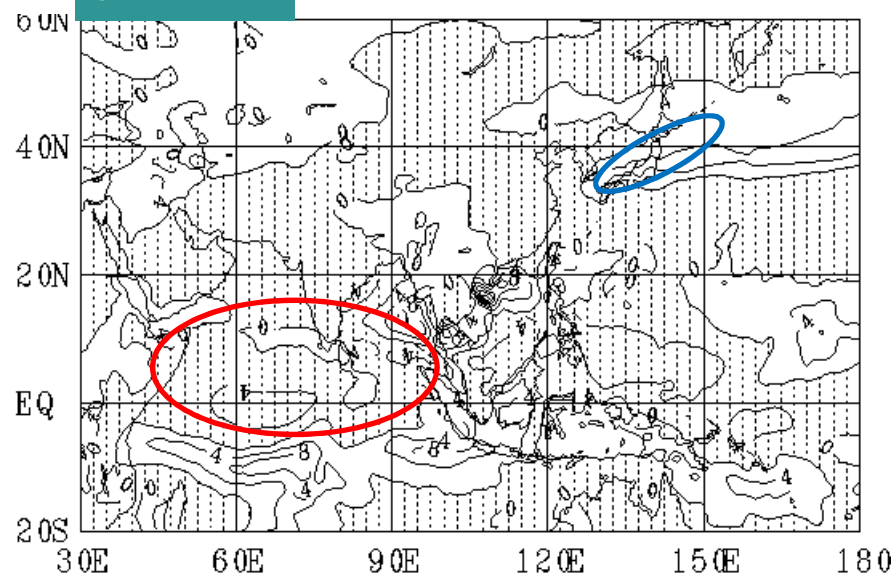
オホーツク海付近で高気圧偏差、日本の南には低気圧偏差が見られ、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすい時期がある見込み。

## 200hPa速度ポテンシャル



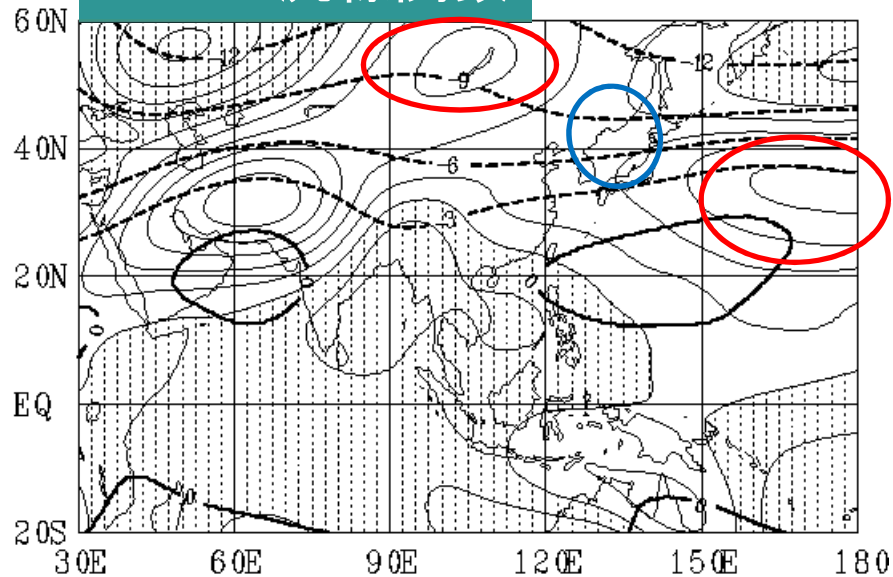
大西洋からアフリカにかけて  
上層発散偏差、太平洋で上  
層収束偏差。

## 降水量



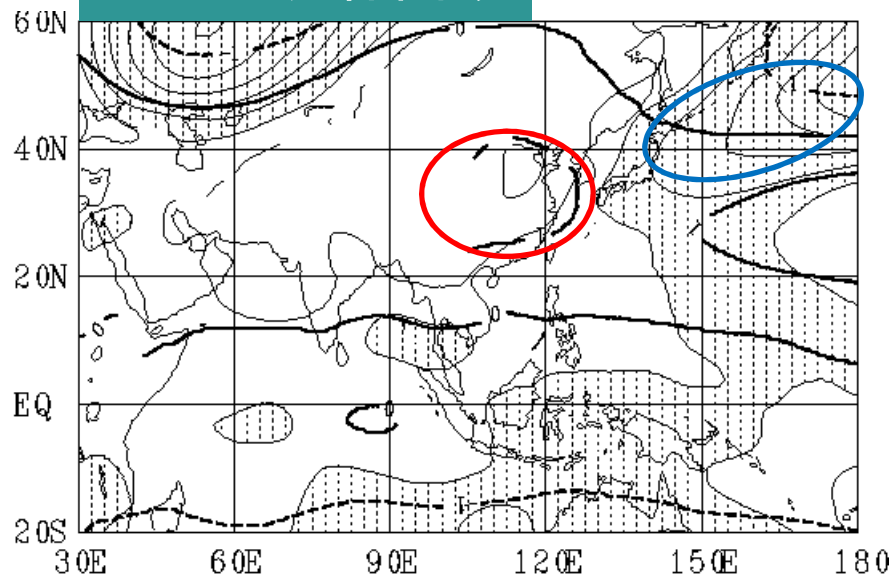
日本付近で多雨偏差。インド洋  
では少雨偏差。

## 200hPa流線関数



波列パターンが見られ、日本付近は相対的な低気圧性循環偏差。

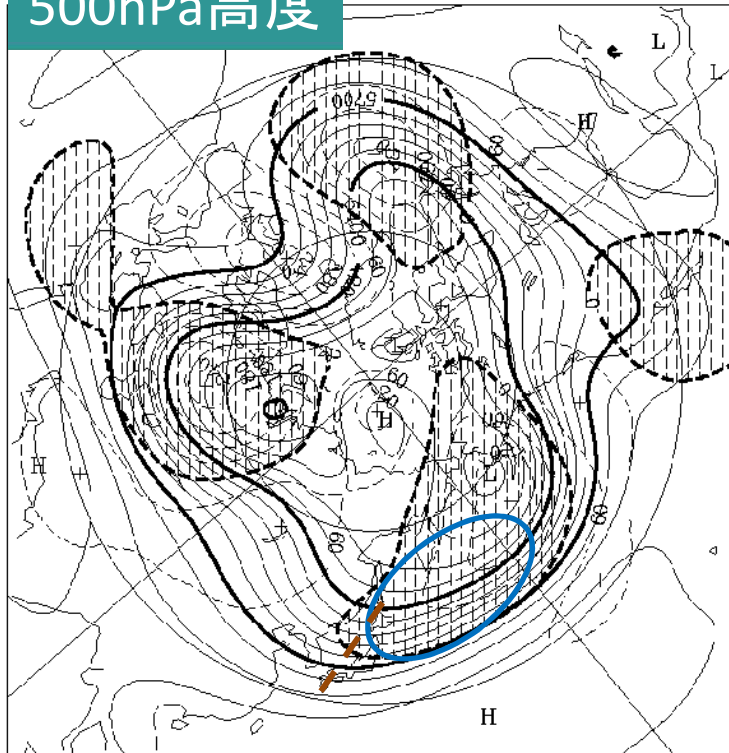
## 850hPa流線関数



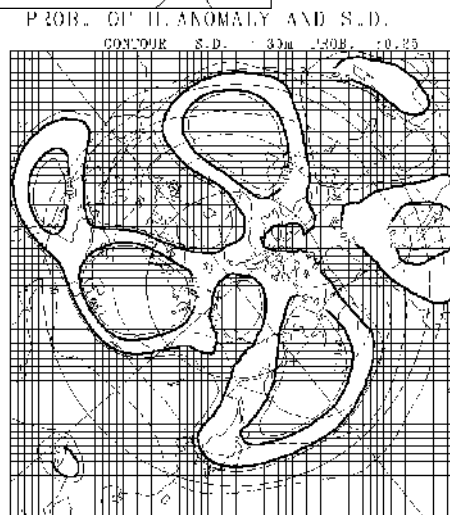
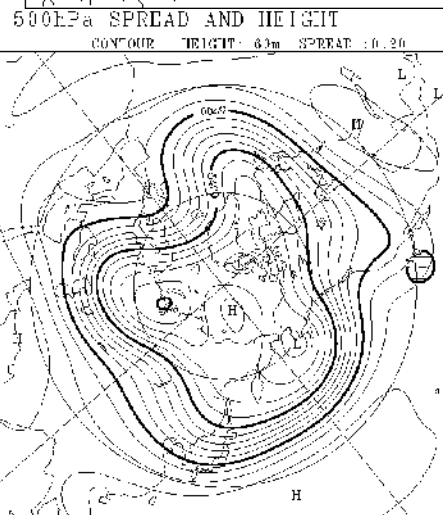
大陸で高気圧性循環偏差、日本の東を中心に、低気圧性循環偏差。

# 予報資料の解釈 1週目(11/2~11/8)

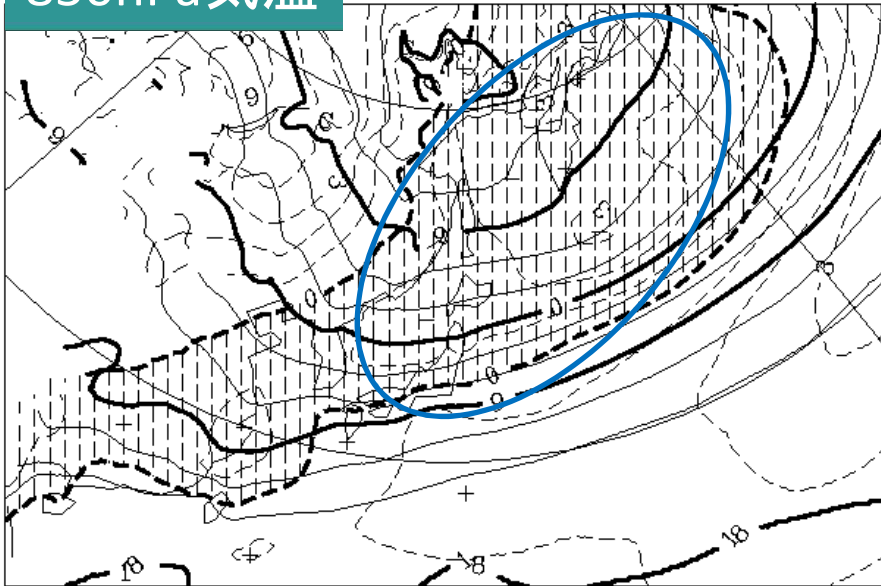
## 500hPa高度



北日本は負偏差に覆われる。  
日本付近にはトラフが見られる。

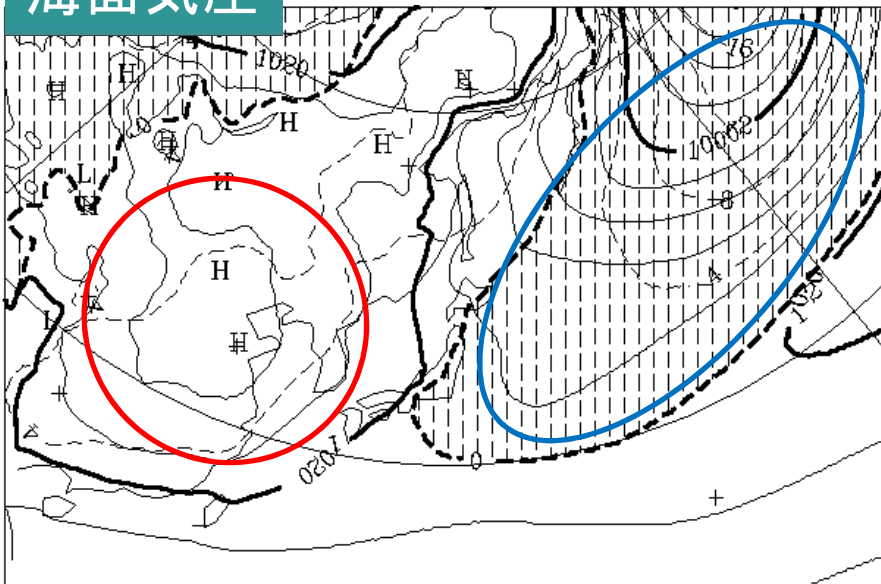


## 850hPa気温



上空のトラフ等の影響により、日本付近は低温偏差となるが、地上気温の予測や週間予報資料より、週平均の気温としては高温の傾向の見込み。

## 海面気圧



大陸で高気圧偏差、日本の東で低気圧偏差となり、西高東低の気圧配置が強まり、北日本を中心に寒気の影響を受ける時期がある。

## 想定される天候

北日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

北日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

東日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

### <気温>

・北日本は並温。

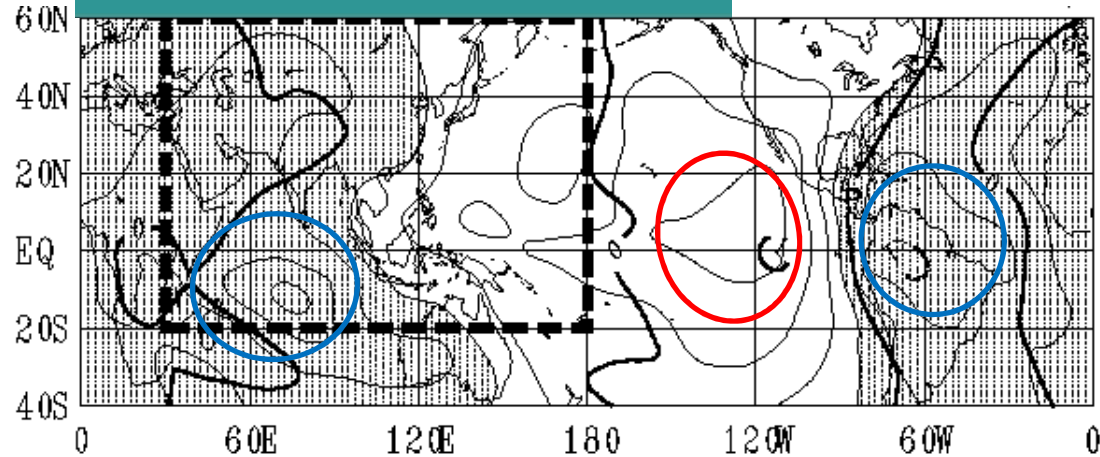
・暖かい空気に覆われやすく、東・西日本と沖縄・奄美では、高温で、沖縄・奄美ではかなり高くなる。

### <天候>

・低気圧や前線の影響を受けやすいため、北日本では、多雨傾向・寡照傾向、東日本日本海側では、多雨傾向・寡照、東日本太平洋側と西日本では、多雨・並照。

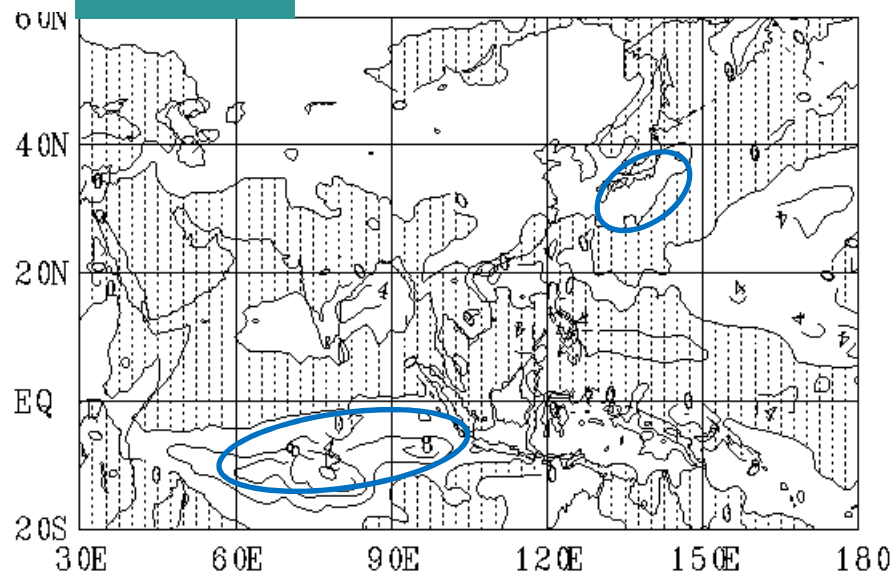
・沖縄・奄美では、台風周辺の湿った空気の影響を受ける時期があるため、やや多雨・並照。

## 200hPa速度ポテンシャル



インド洋、南米付近で上層発散偏差、太平洋東部で上層収束偏差。

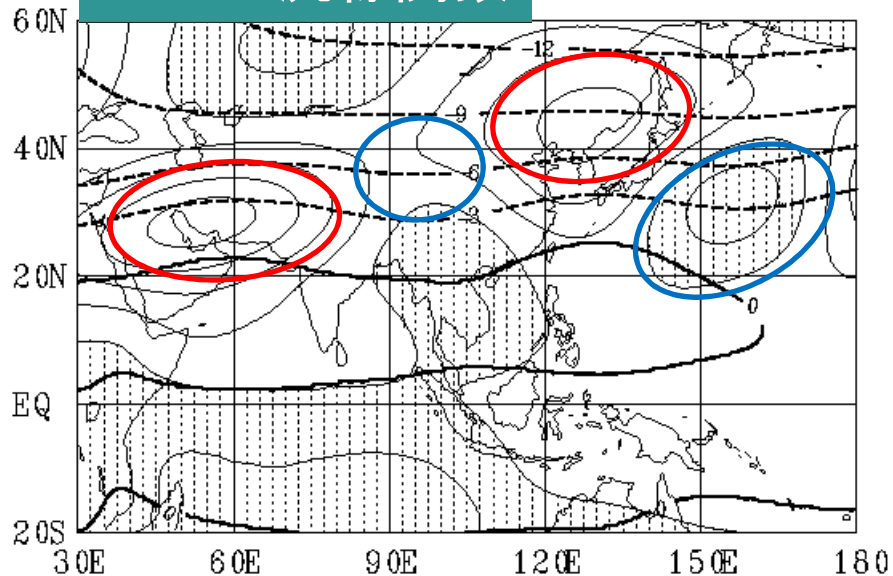
## 降水量



インド洋赤道域の南半球側で多雨偏差。日本の南にも多雨偏差域が見られる。

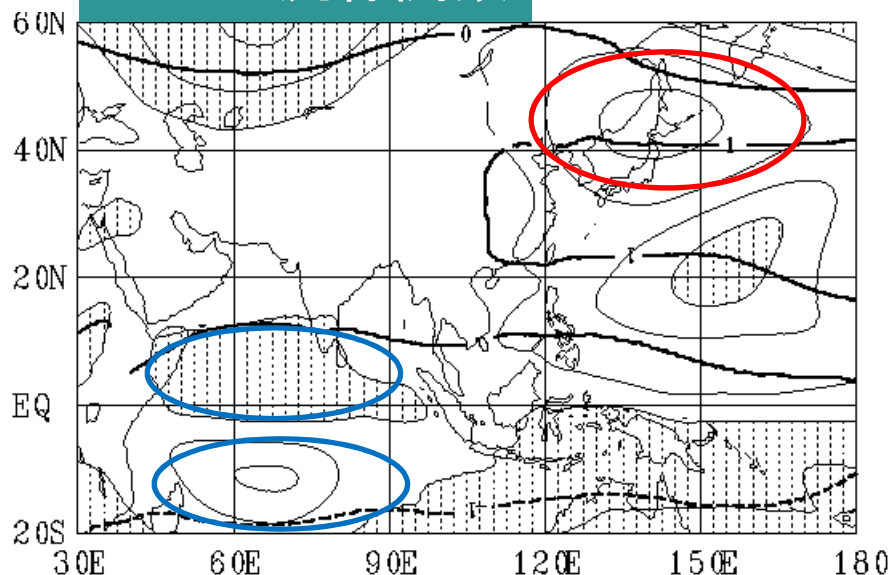


## 200hPa流線関数



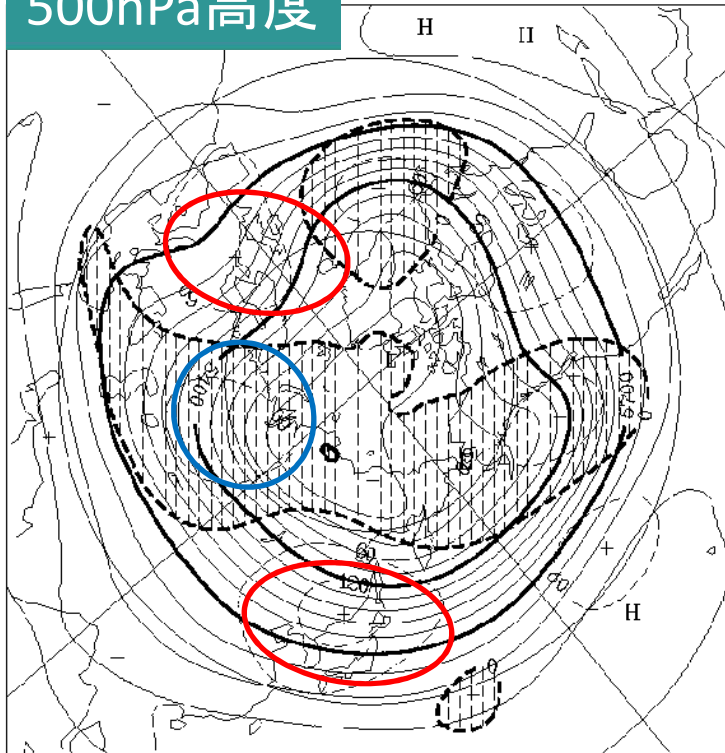
中緯度帯では波列パターンが見られ、沿海州付近で高気圧性循環偏差。中東付近の高気圧性循環偏差にはインド洋の対流活発の影響もあると考えられる。

## 850hPa流線関数



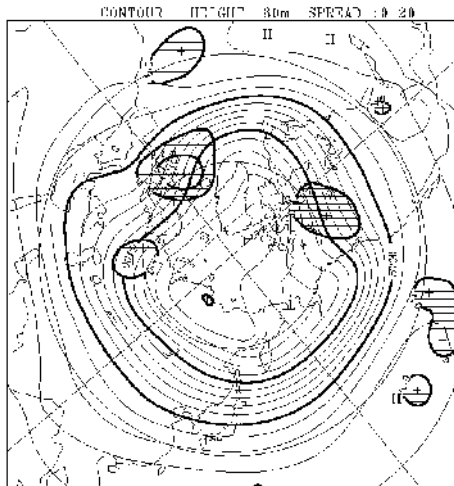
インド洋では南北対の低気圧性循環偏差。日本付近は北日本中心に高気圧性循環偏差に覆われる。

## 500hPa高度

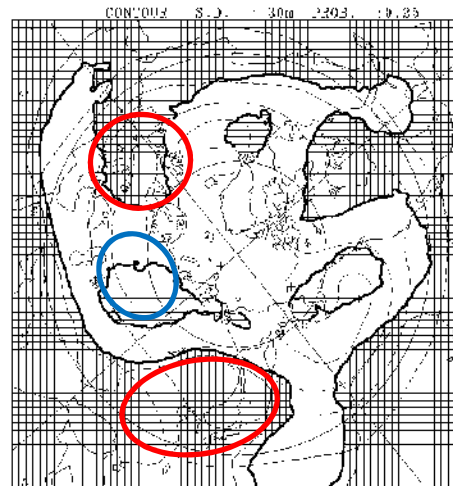


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.



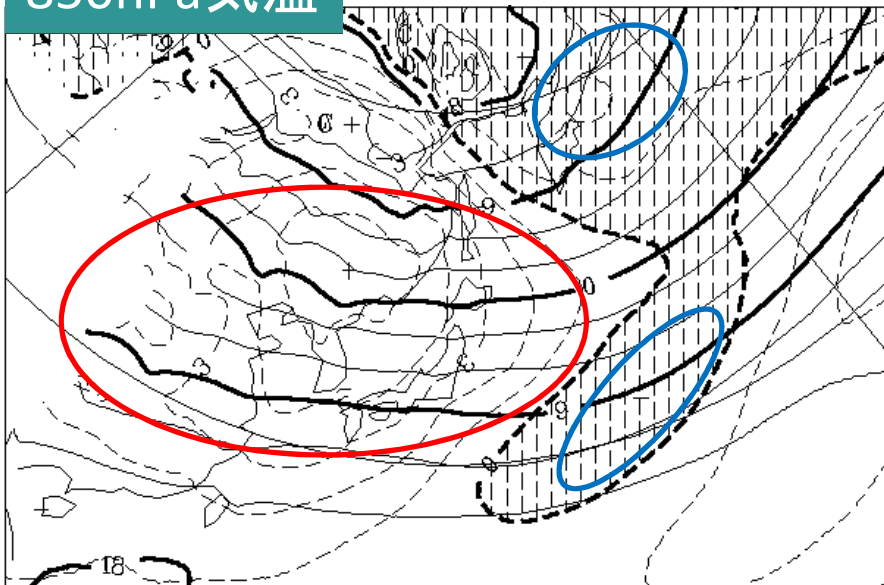
CONTOUR HEIGHT 80m SPREAD 0.20



CONTOUR S.D. 30m 2.00 0.25

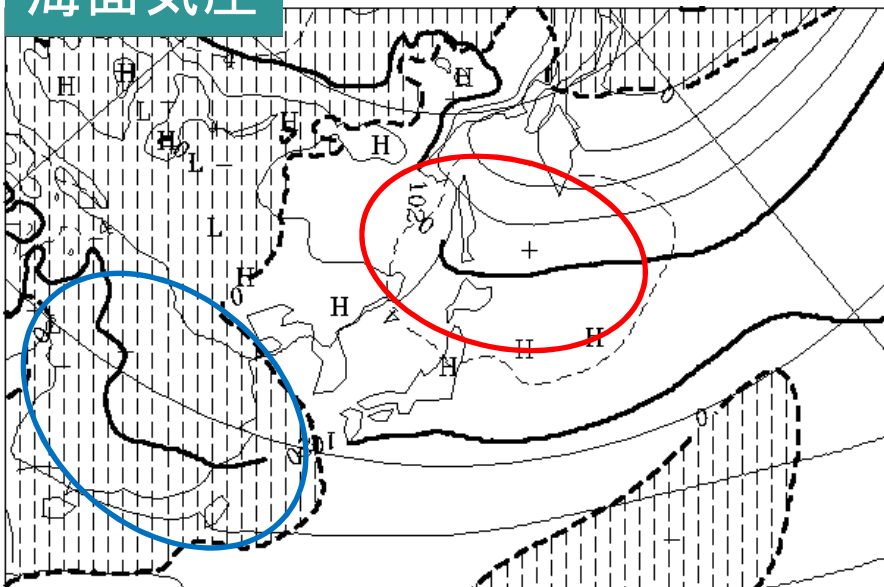
ユーラシア大陸北部には波列パターンが見られ、日本付近は北日本中心に広く正偏差に覆われる。高偏差確率でも同様のパターンが見られ、この傾向は採用する。

## 850hPa気温



日本付近は広く高温偏差に覆われる。カムチャツカ半島付近、日本の南東には低温偏差も見られる。

## 海面気圧



北日本中心に高気圧偏差となり、西高東低の気圧配置は弱い。太平洋側の地域を中心に、東よりの湿った気流等の影響を受けやすい時期もあると見込む。

### 想定される天候

北日本日本海側では、西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。

北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東日本日本海側では、西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

#### <気温>

・寒気の影響を受けにくいいため、全国高温で、かなり高くなる。

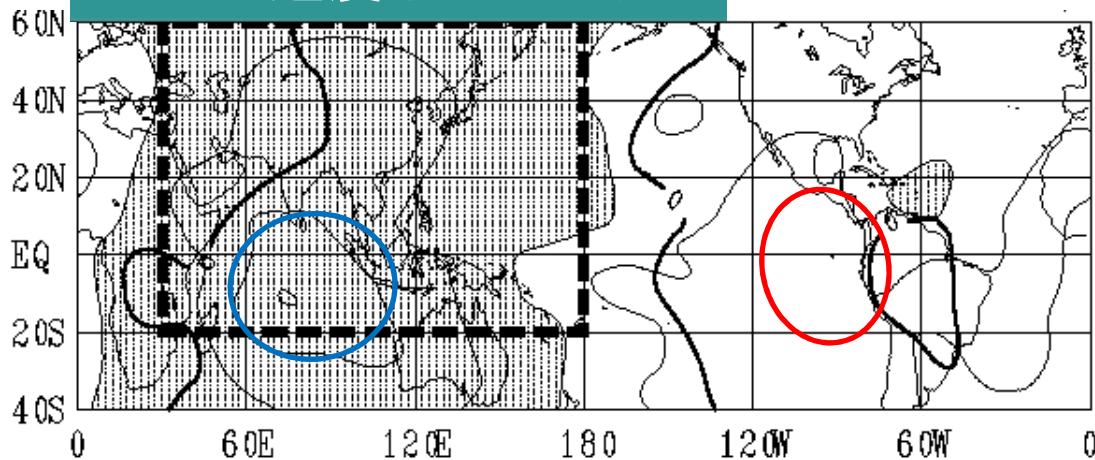
#### <天候>

・西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくいいため、北・東日本日本海側では、やや少雨・多照傾向。

・西高東低の気圧配置が弱く、湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、北日本太平洋側では、並雨・やや寡照、東・西日本太平洋側では、やや多雨・やや寡照、西日本日本海側では、並雨・やや寡照。

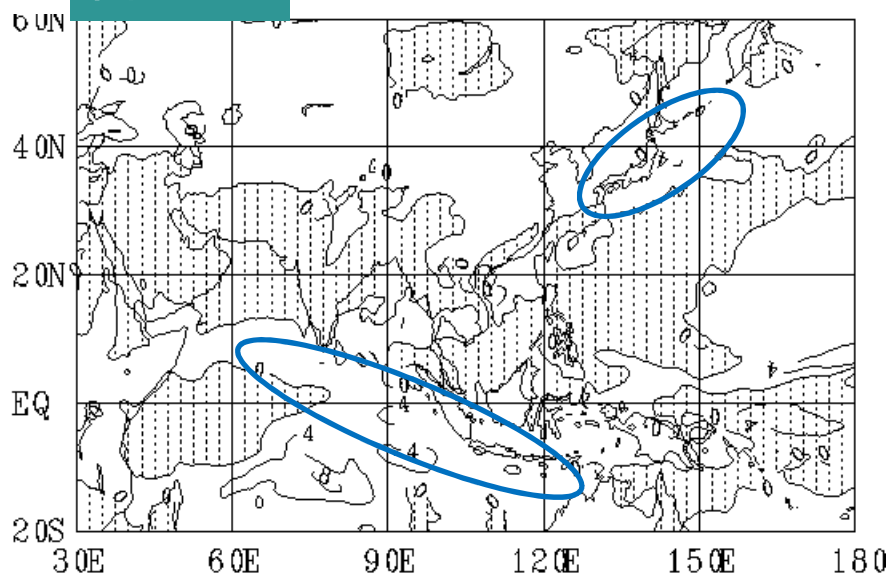
・沖縄・奄美では、並雨・並照。

## 200hPa速度ポテンシャル



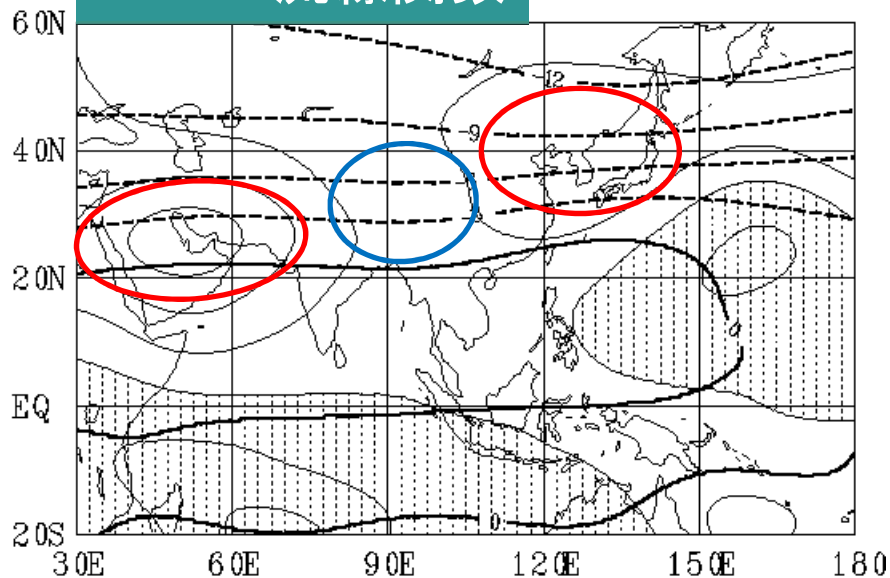
インド洋で上層発散偏差、太平洋東部で上層収束偏差。インド洋の上層発散偏差の傾向は採用するが、インド洋での対流活発を持続させやすいというモデルの特性を考慮し、やや割り引いて考える。

## 降水量



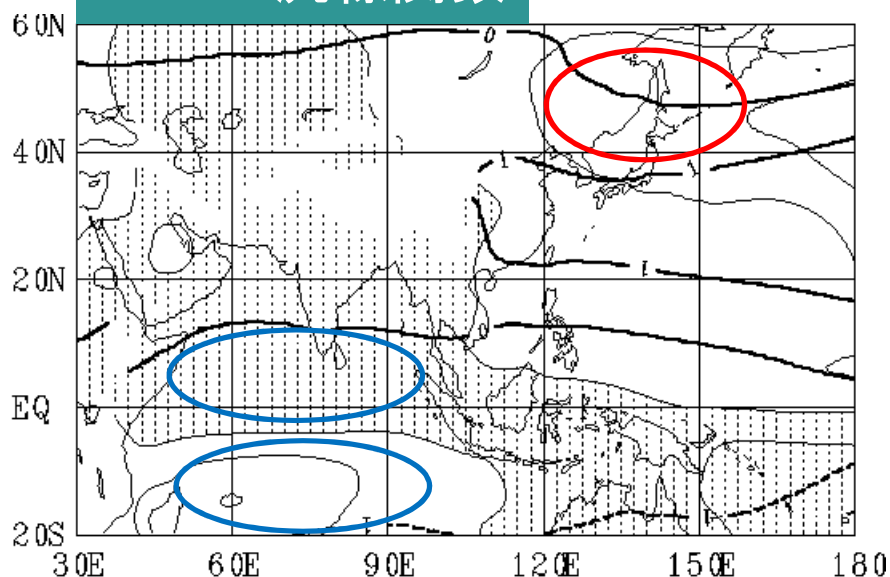
インド洋では多雨偏差、日本付近も多雨偏差が見られる。

## 200hPa流線関数



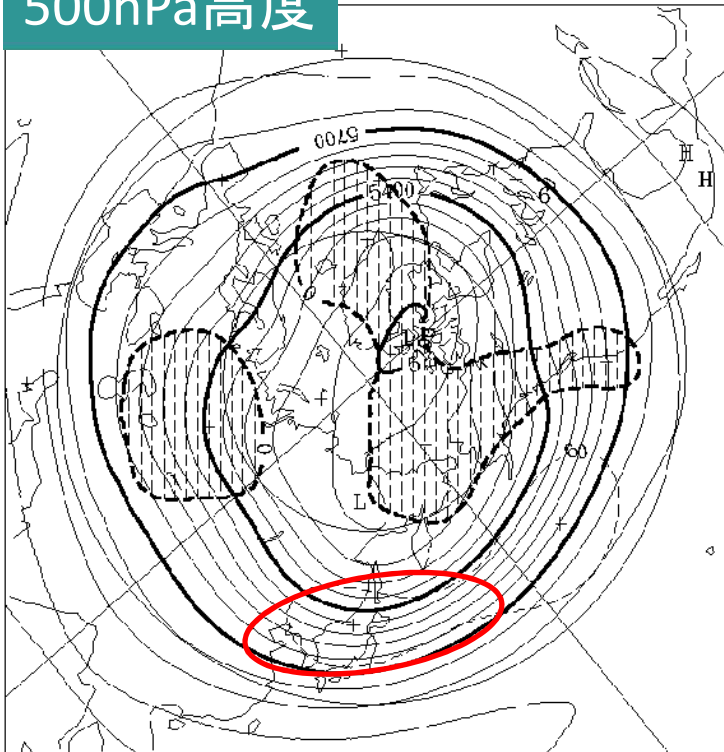
中緯度帯では波列パターンが見られ、日本付近で高気圧性循環偏差。アラビア海付近の高気圧性循環偏差にはインド洋の対流活発の影響もあると考えられるため、前述のモデルの特性を考慮し、日本付近の高気圧性循環偏差もやや割り引いて考える。

## 850hPa流線関数



インド洋では南北対の低気圧性循環偏差。日本付近は高気圧性循環偏差に覆われる。

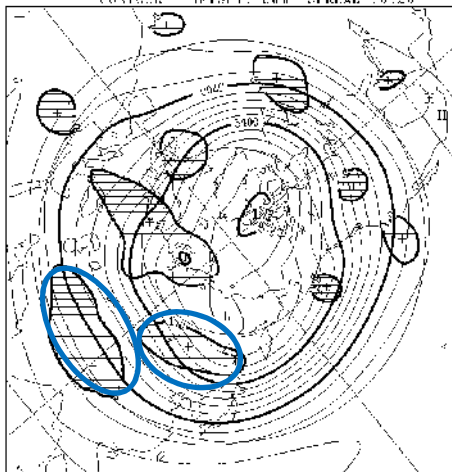
## 500hPa高度



日本付近は北日本中心に広く正偏差に覆われる。  
高偏差確率等を考慮し、この正偏差のパターンは概ね採用するものの、ユーラシア付近や、日本の北でスプレッドの大きい領域は見られることから、この傾向はやや割り引いて考える。

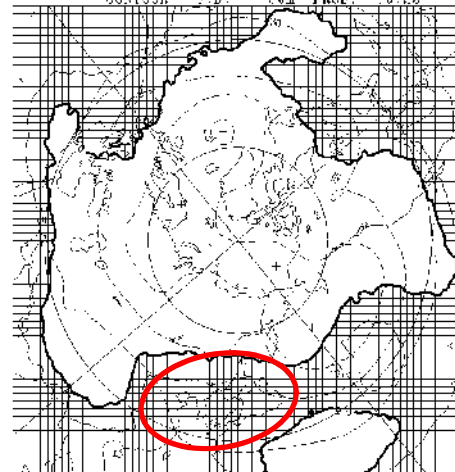
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

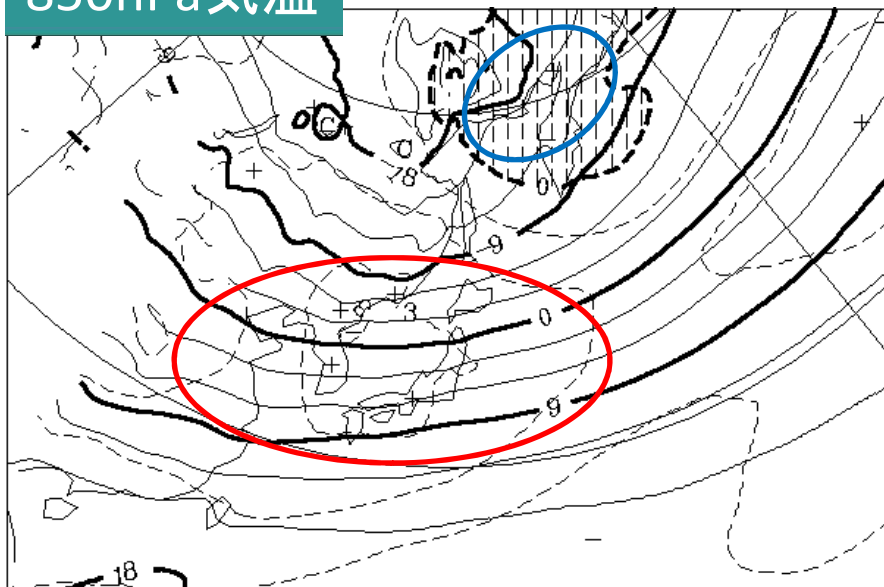


PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB: 0.25

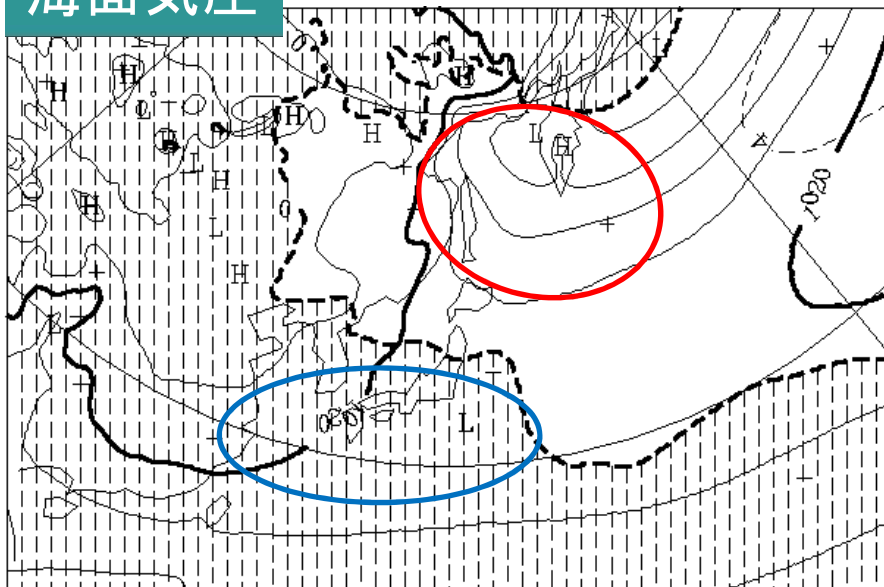


## 850hPa気温



日本付近は広く高温偏差に覆われるが、カムチャツカ半島付近には低温偏差域も見られる。

## 海面気圧



オホーツク海付近に高気圧偏差、華中から本州付近にかけては低気圧偏差。西高東低の気圧配置が弱い傾向は採用するものの、前述のモデルの特性に起因する不確実性等を考慮し、やや割り引いて考える。



## 想定される天候

北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。  
北・東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。  
東・西日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。  
西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

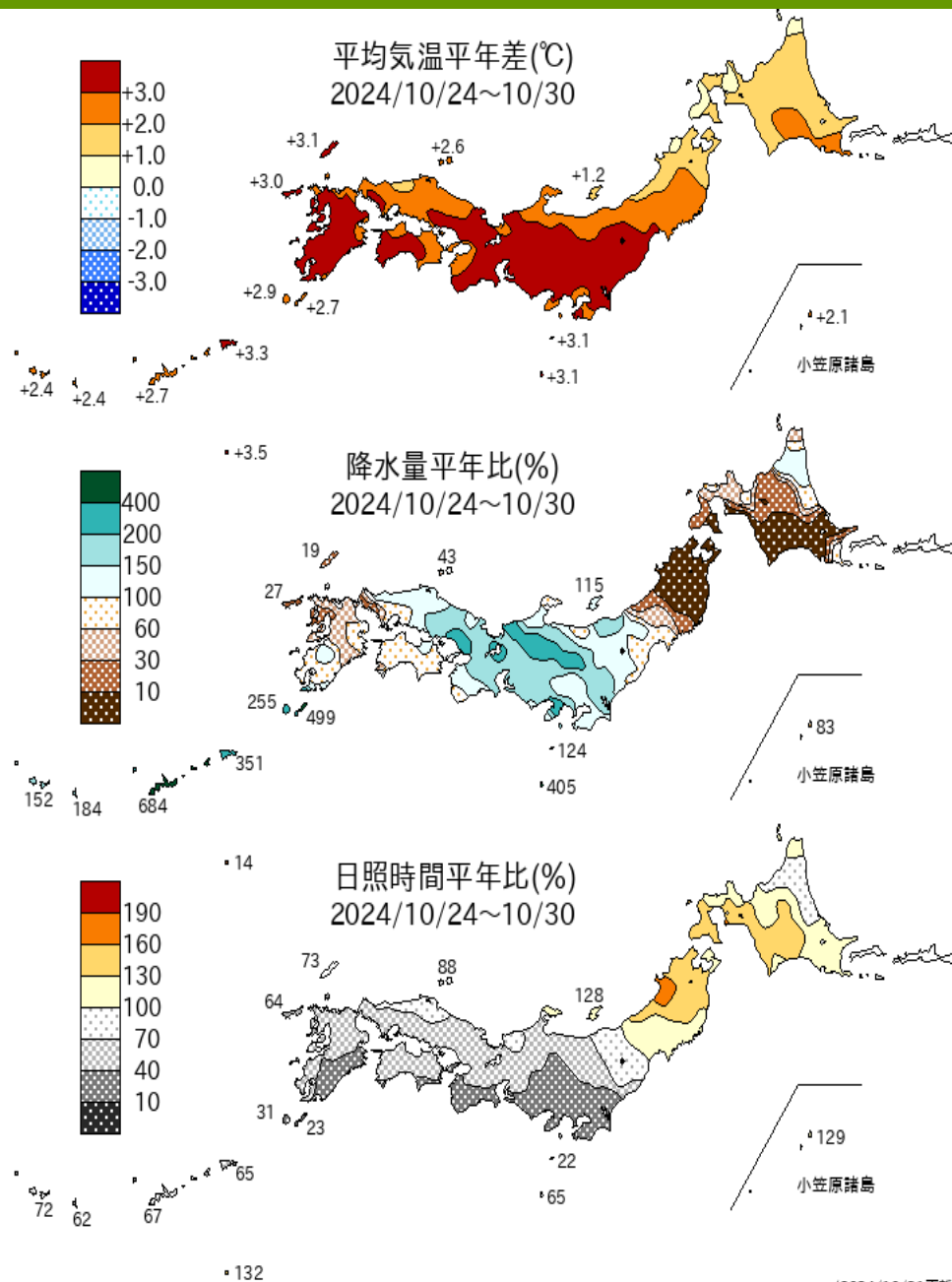
### <気温>

- ・北・東・西日本では、寒気の影響を受けにくいいため、高温。
- ・沖縄・奄美では、暖かい空気に覆われやすいため、高温。

### <天候>

- ・西高東低の気圧配置が弱く、寒気の影響を受けにくい時期があるため、北・東日本日本海側では、やや少雨・やや多照。
- ・西高東低の気圧配置が弱く、湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、北・東日本太平洋側では、やや多雨・やや寡照。
- ・西日本と沖縄・奄美では、並雨・並照。

# 最近1週間の天候経過



最近1週間(10月24日~10月30日)は、北日本では、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、東・西日本や沖縄・奄美では、低気圧や前線、台風周辺の湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。気温は、全国的に暖かい空気に覆われやすかったため高くなりました。